

景観まちづくり学習助成事業実施校 学校名 鶴岡市立湯野浜小学校

① 学習指導案

プログラム	No.10 「校歌の風景を見つめてみよう」
単元名 (全22時間)	ふるさと自然教室で、湯野浜の海を満喫しよう。湯野浜のすばらしさを発見しよう。
学習のねらい	(1) 湯野浜地域・加茂地域での自然体験学習を通して、地域の自然の豊かさや美しさに体験的にふれることにより、地域を支える人々の努力や工夫にも目を向けて、地域について探求しようとする態度を育む。 (2) 湯野浜地域・加茂地域の海での活動を通して、海の豊かさを守り続けるために必要なことや自分たちにできることを考え、「景観学習」「砂の造形大会」「森林(防砂林)学習」など、ふるさと自然教室後に行う学習にも生かせる資質・能力を養う。 (3) 泊を伴う集団活動を通して、仲間と協力し、助け合う態度を養いながら、5年生らしい責任ある行動をとれるようにする。 (4) 地域の自然に親しむ活動に時間をかけて取り組む中で、校歌に表された湯野浜の自然・景色の素晴らしさを発見し、外部に向けて伝えたい思いを醸成し、様々な方法で発信の仕方を工夫することができるようにする。
学習内容	1 「ふるさと自然教室」に向けた事前学習 2 「ふるさと自然教室」 3 「景観出前授業」美しい湯野浜を写真におさめよう 4 ふり返りと成果の発信(学校祭における写真展示) 5 森林学習(発展:防砂林「はまっこ森」での学習)
参考資料 準備品 実施場所等	実施場所 【ふるさと自然教室】 ・湯野浜小学校 ・湯野浜海水浴場 ・海辺の交番「カモンマーレ」、加茂レインボービーチ ・湯野浜温泉「竹屋ホテル」「ホテルテトラリゾート鶴岡」 【景観学習・出前授業】※7/8雨天のため、湯野浜小学校で実施 ・金毘羅神社(10/18に実施) ・湯野浜小学校体育館「学校祭会場」(10/26に実施)

学習の流れ

時間	学習活動	教師の指導	評価
1	「ふるさと自然教室」の基本の活動と自分たちで計画する活動について見通しをもつ。	・ふるさと自然教室の活動と校歌の歌詞を対比させて、これからの活動についての見通しをもたせる。	・活動全般に対して意欲を高めることができた。
2	校歌の歌詞に示された「海」「波」「温泉」「夕日」等にふれながら3日間の体験活動を意識できるようにする。	・書写の学習で、校歌の歌詞を書き出して読み合う。 「海」「温泉」「夕日」などの歌詞は、どの活動に結びついているか想像させながら、ふるさと自然教室の活動に取り組むことを確認し、意欲を高めていく。	・校歌の歌詞には、地域の豊かな自然環境が示されていることに気づくとともに、ふるさと自然教室とのかかわりが大きいことに気づくことができた
3	活動の内容と活動班や活動係について計画する。	・特に3日間の活動を支える食事と睡眠について考える。自分たちの力で作って食べることや体力を回復させるための睡眠時間の必要性を理解して3日間を健康で過ごすために必要なことを考え、計画を立てる。	・男女比や活動内容から、必要な班と人数、主な係をわり出して計画することができた。
4	テント設営の練習をする。 テント泊について学習する。 シュラフの使い方、片付け方を練習する。	・体育館にて、テント設営を師範する。 ・就寝時に使う、シュラフやマットについて使い方を指導する。	・テント設営はスムーズにできた。時間短縮につながる見通しをもつことができた。
5	班編制を行う。係を決める。	・教師が割り当てた班員表を参考にして、班編成と係分担を計画する。	・仲間づくりの大切さを意識しながら計画することができた。
6	野外炊飯について計画する。 ・1日目の昼食と夕食 ・2日目の朝食と夕食 ・3日目の朝食	・メニューについて知らせ、家庭科の授業の中でも調理の仕方について指導する。火や湯を使う場面が多いため、特に安全面を指導する。	・家庭での経験がある児童が多かったため、手順や分担についてスムーズに確認できた。

7	夜の活動や行事について計画する。	・学校探検とキャンプファイヤーについて計画する。 - 役割分担を行うとともに、安全面の約束を確認する。	・キャンプファイヤーは初めての試みであるため、体育のダンスで取り組んだマイムマイムを計画した。練習計画も確認できた。
8 9	テーマ「海の豊かさを守る」に沿って調べ学習を行う。分かったこと、もっと深く知りたいことを発表して、交流する。	・「漂着ごみ問題」「磯遊び」「防災」など、身近な海の課題についてテーマを決め、関係書籍を読むなどして調べ学習を行う。	・海での活動に関係する部分について書籍を提示してところ、熱心に読み込んでいた。 ・活動プログラムの「海岸清掃」「磯遊び」でどんなことをがんばるのか見通しをもつことができた。
10	本番に向けて、最終の確認をする。	・荷物、日程、約束の確認をする。	
11 ～ 16	ふるさと自然教室	・要項参照	・天候にも恵まれ、ほぼ予定通りに自然体験を行った。
17	自然教室のふり返しをする。校歌の歌詞にある風景についてふり返る。	・活動のしおりを使ってふり返しを行う。	・どの活動の中でも海がかかわっていることに気づき、改めて地域の自然の良さにつついて考えることができた。
18	各所にお礼の手紙を書く。	・マリンレジャー指導者、湯野浜温泉観光協会、湯野浜地区自治会などの関係機関に対しお礼の手紙をしたためる。	・活動を思い出しながら、感謝の気持ちを表した。

19 20	景観学習（出前授業） ※雨天のため座学に変更	・県内各所から取り上げられた美しい景色や街並み、自然環境などを例にして景観について学ぶ。 ・庄内地方にある優れた景観をもつ地域について知り、湯野浜地域との比較を考える。 ・湯野浜温泉観光協会、湯野浜地区自治会の方々から、湯野浜の景観を維持して、守り続けるための努力や工夫について話を聞き、訪問予定の金毘羅神社から見下ろす景色について想像する。	・県と市の関係者の話にも熱心に耳を傾け、取り組みの様子を理解することができた。 ・自然教室で入浴した湯野浜温泉について歴史や効能、維持管理する上での日々の努力と工夫について、初めて知る内容も多く関心をもって聞くことができた。
21	校外学習（写真撮影） ※10月18日14時頃に実施	・海拔52mの金毘羅神社から地域の景観の魅力を伝える写真撮影を行う。	・デジタルカメラを使用して、高台から見下ろす海や砂浜、遠くに見える鳥海山の姿をカメラに収めることができた。
22	写真展を計画・実施する。	・もっともよく撮れた1枚を選ぶ。 ・学校祭の際に会場の一角にブースを設け、写真展を実施する。	・写真展を見た地域の方々からも高評価をいただいた。金毘羅神社から見下ろす景観のすばらしさについても話題になった。

② 事業実施報告書詳細

学校名 鶴岡市立湯野浜小学校

時間数	場所	概要	活動記録（写真）	対象者の反応
12	教室 体育館	ふるさと自然教室 の事前学習 ふり返し	別紙 ふるさと自然教室要 項参照	・活動への意欲を高めた。 ・校歌の歌詞の内容を考えて、地域の良さを探ろうとする意識を高めた。 ・活動で得た経験から地域のよさをふり返し、地域を誇りに思う心情を高めることができた。
6	学校 海水浴場 加茂港 渚の交番 「かみマル」 加茂水族館 宮沢海岸 湯野浜温泉	ふるさと自然教室 2泊3日	別紙 写真参照	・自然体験を満喫できた。 ・受け身ではなく、主体的に活動に取り組む姿も見られた。 ・海での活動に恐怖心や緊張感をもっていた児童もいたが、講師の丁寧な指導・補助を受けてサーフィンやヨット体験を楽しむことができた。
4	教室 金毘羅神社 体育館	景観学習出前授業 写真撮影校外学習 写真展	別紙 写真参照	・湯野浜が、県内各地の素晴らしい景観に劣らず、自慢できるものであることを実感することができた。 ・県内外に、まだまだ知らない地域やそこで大事にされている財産があることに気づくことができた。

③ 実施内容について

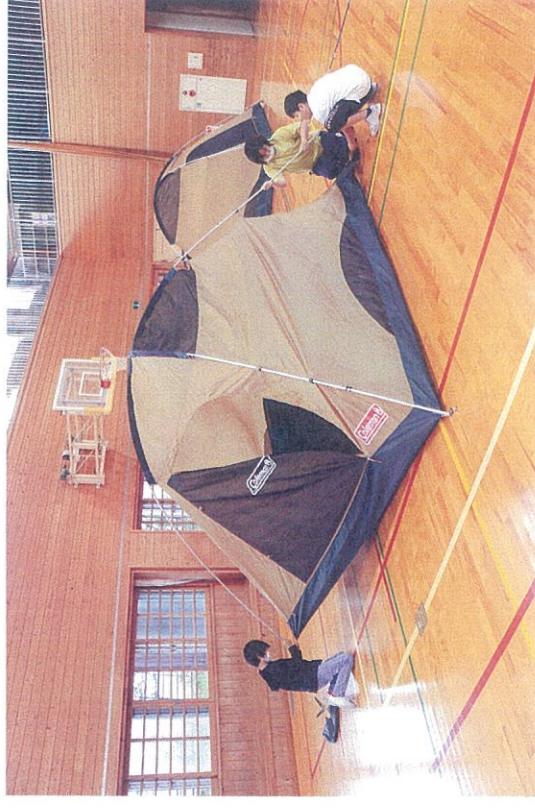
(1) 実施にあたり工夫した点 ・モデルプログラム「校歌の風景を見つめてみよう」を参考にした点が、地域の優れた景観を理解するうえで有効に働いた。 ・普段なんとなく歌っている校歌の内容をふり返るために、書写の時間を使って毛筆で書きだし、教室に掲示することで、意識付けを図ることができた。 ・「ふるさと自然教室」の中で、その都度、校歌の歌詞に示された風景に向き合わせることで、活動を楽しむことができた。湯野浜小学校だからこそできる学びに特別感をもたせることができた。
(2) 実施にあたり苦労した点 ・県内最大規模の海水浴場や開湯1000年の歴史をもつ温泉地であるが、コロナ禍による昨今の景気の落ち込みから、観光業も下火になったままで廃業したホテル・旅館がそのままになっており、地域の問題になっている。また、年間を通して砂浜のごみの放置が問題になっているなど、子どもたちはそうした現実の部分も日常的に目にしているため、「美しい景観」を意識付ける難しさを感じた。
(3) 児童の反応 ・湯野浜の歴史や観光業の努力や工夫を語ってもらうことで、自分たちでは気付かない湯野浜の魅力を理解することができた。 ・金毘羅神社は距離的にはとても近い場所ながら、安全面からなかなか近寄ることのない場所だったため、初めて訪れて、景色を見下ろした感動を共有することができた。 ・写真撮影を楽しむことができた。自分だけの1枚を写真展で多くの方から見ていただいたことを喜び、誇りに思う姿が見られた。
(4) 担当教諭及び担当外教諭の変化 ・今回の学習は、本校赴任3年目になる教頭がプレゼンしたものである。赴任後から、地域をくまなく歩きまわり、地域の方々との触れ合いの中で得た経験から教材化して提供したものである。担任も子どもたちも初めて触れるものであったため、改めて湯野浜の魅力を考え、理解することができた。次年度に6年生になる子どもたちは、修学旅行で宮城県の震災を経験した町を訪れる。その時に、今回の学びを踏まえたプログラムを組みたいという思いをもっている。
(5) 今後の課題と取り組み〔児童の思考過程と指導内容との関連付けから、留意すべき事項等〕 ・湯野浜は非常に狭い地域であるため、活動するのはそれほど困難ではない。すぐにでも行ける場所にある。しかしながら、活動重視になるのではなく、湯野浜の景観を守るための工夫と努力を続けている人とかかわっていくことが大事ではないかと考える。それは、授業だけのかかわりではなく、日ごろから学校や子どもたちと深くかかわっていることが必要である。そのためにも、特定の教員だけが地域との窓口になるのではなく、他にも地域と深くかかわって学びを創造できる教職員を育成しなければならないと考える。 ・安全面の確保のためにも地域関係者の協力は欠かせない。現在の関係を維持していく必要性を強く感じる。

〈サーフィン体験〉



【活動写真】

〈テント設置〉



〈クリーン作戦〉



〈ヨット体験〉



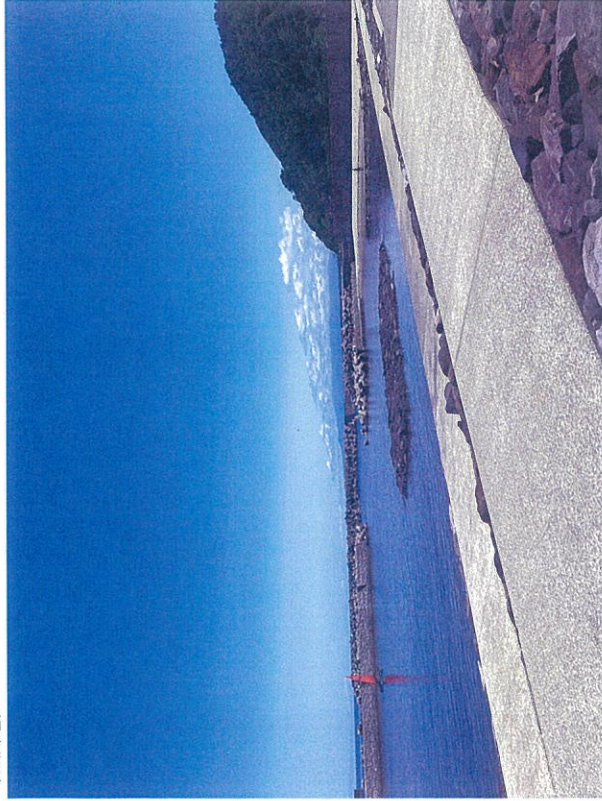
〈夕食調理〉



〈食育学習 ニジマス捕獲体験〉



〈加茂港〉



〈加茂水族館〉



〈食育〉



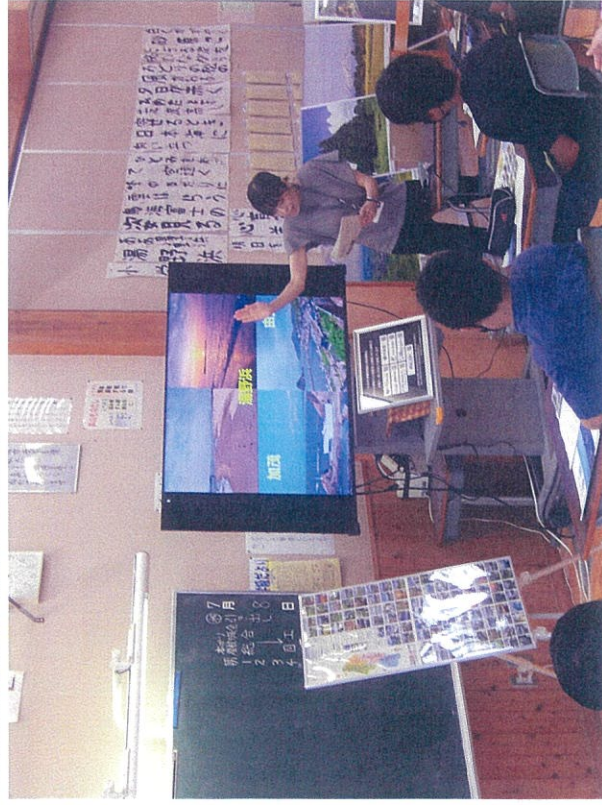
〈海洋保全学習 座学〉



〈景觀學習出前授業 山形県庁県土整備部〉



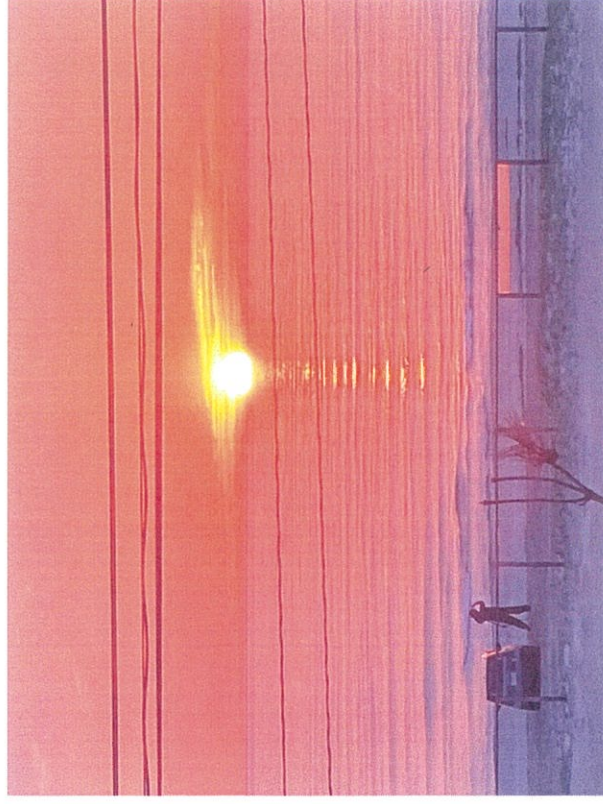
〈景觀學習出前授業 鶴岡市都市計画課〉



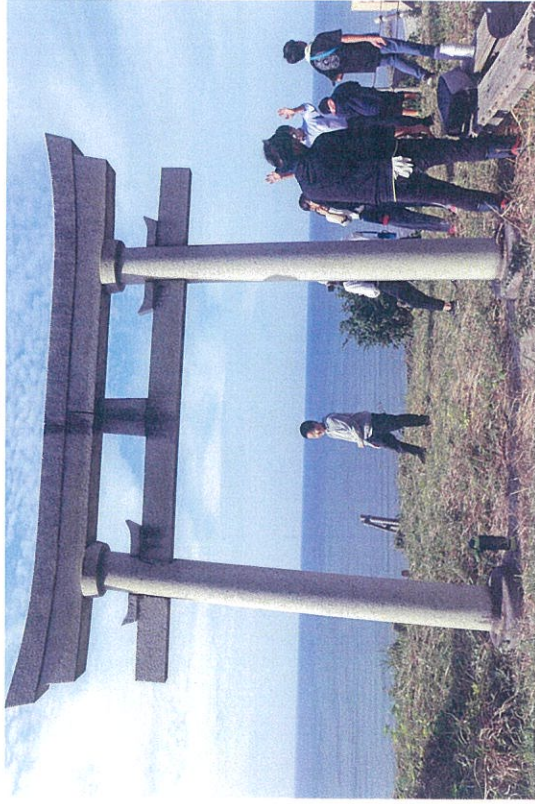
〈磯遊び〉



〈夕陽〉



〈景観学習出前授業 写真撮影会 金毘羅神社〉



〈景観学習写真展 学校祭〉



〈景観学習出前授業 湯野浜温泉観光協会〉



〈景観学習出前授業 湯野浜地区自治会〉

